

# 「受験生の君へ」

私は、衆議院議員のいなとみ修二と申します。時々朝夕に交差点や駅で、ハタをもつて挨拶しているかチラシを配っています。街角で会ったこともあるかもしれません。

さて、いよいよ秋、受験に向けて頑張っている頃でしょうか。一言お伝えしたくて書いています。

受験のない同世代の人たちを見て、ああいいなあ、自分も楽しみたいなあ、人生一度なのに自分は何にも面白みがない生活を送っていると思うことはありませんか。私は受験生時代に、もっと楽しい時間をすごしたいなあと強く思っていました。

そんな私が通っていた予備校で、『**Fruitful Monotony**』（**実りある単調**）という言葉を英語の先生から教わりました。偉い哲学者の言葉らしく、こう解説してくれました。「毎日、楽しいこと、ワクワクすること、予想もしていないことが身に起こることなんてない。朝起きて、歯磨いて、朝食食べて、学校いって、勉強して、帰って食事して、寝る。週末は、塾に行くか模擬試験を受ける。何も変化がない退屈で単調な毎日。でもその毎日こそが、実りあるものだ」と。30年以上も前ですが、今でも覚えている言葉です。

私は、大学受験は失敗の連続で、二年浪人してようやく志望校に入学しました。単調な、変哲のない、繰り返しの退屈な毎日だからこそ、実りある結果が期待できるのだと思います。

体調に気を付けて頑張ってください、心から応援しています！